

【奨 励 賞】



氏 名 OLI PREM
(オリ プレム)

国・地域 ネパール



在日期间 1年9ヶ月

学 校 神村学園専修学校

タイトル : ホーム

「ステイホーム」みなさんは今、誰と住んでいますか。

私のホームはネパールです。ネパールでは家族と一緒に住んでいましたが、日本に留学するため家族と離れて2年になりました。今は「ホーム」ではなく「ハウス」でがんばっています。日本にいても、いつも一人で住んでいる母のことを思い出します。毎日私が学校から帰るのを待っていた母、今何をしているか知りたいけれど、残念なことに私の田舎はインターネットのつながりにくい所で、なかなか連絡できません。

日本に来てびっくりしたことはたくさんありますが、中でも、お父さんお母さん、家族との距離があまり近くないということを感じます。私が住んでいるシェアハウスに、掃除をする女性がいらっしゃいます。私たちはその方を「お母さん」と呼んでいます。お母さんは時々マスクを作ってくれたり、やぶれた服を縫ってくれたりして、私は代わりにネパールの料理を作っておあげます。日本のお母さんができてとても嬉しいです。お母さんは一人で住んでいるそうです。子供達はもう結婚して遠いところに住んでいます。「一人で寂しくないですか」と聞いたら「いいえ全然！」と言ったのでびっくりしました。「どうしてですか」と聞くと「一人だと好きな時間に自分の好きな事をして、自由に生活できるし、好きなご飯を食べられるし。」とお母さんは言いました。ネパールでは子供たちが結婚しても、一緒に生活したり孫たちと一緒に遊んだりするのが家族の夢です。

日本に来て学んだことの一つに「まわりに迷惑をかけない」ということがあります。時間に遅れない、体調が悪くてもがんばる、休まない、そうやって日本人は人に迷惑をかけないようにがんばって生活しています。それはとても素晴らしいことですが、その代わりに、自分の時間がなくなったり、体調が悪くなったりすることもあるかもしれません。子どもが大人になったら迷惑をかけたくないとか、子どもたちに自由に生活してほしいと、一緒にいたくてもがまんしている親が多いのではないかと、それが日本人の家

族を大切にするやり方なのかなと思いました。ネパールでは、子どもが大人になったら、これからどうすれば家族みんなが幸せに一緒に生活できるか考えます。自由ということより、一緒にいることが大切なのです。

去年はコロナで、いろいろなことが変わりました。少しでも体調が悪ければ休まなければならないし、どこにも行けずにステイホームで家族と過ごす時間も増えたと思います。日本人にとって、このコロナが、自分や家族をもっと大切にしてみたい、つらいときは休んでもいい、時には家族やまわりの人に迷惑をかけてもいい、それを学ぶいいチャンスになるかも知れないと私は思いました。

冬になると母は、私の大好きな豆のスープを作ってくれていました。留学してひとりで食べるご飯はとても寂しいです。私の場合、今コロナで家族との距離がもっと遠くなってしまいました。国へ帰りたけれど帰れない、家族に会いたいけれど会えない。コロナにかかっていないか、元気になっているか、いつも聞きたいですが、今は心配することしかできません。だから、家族と同じ国、同じところにいる人は、家族と一緒にいられる時間をもっと大切にしたい方いいと思います。人間いつどんな状態になるか誰もわかりません。だから家族を、自分を大切に、幸せに生きていきましょう。今度母に会ったら、私は、豆のスープをたくさん作ってもらって、日本で勉強したことをたくさん聞かせてあげたいです。